大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

# 創刊のことば



| メタデータ | 言語: Japanese |
| --- | --- |
| | 出版者: |
| | 公開日: 2009-08-25 |
| | キーワード (Ja): |
| | キーワード (En): |
| | 作成者: 小島, 操子 |
| | メールアドレス: |
| | 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/10466/2642 |

# 創刊のことば

大阪府立看護大学
学長　小島　操子

今春，大阪府立看護大学に新しい医療教育をめざす総合リハビリテーション学部が発足しました。全国をふきあれる少子高齢化，社会経済の危機，そして大学改革の嵐の中で，医療や人々の健康ニーズは高度・複雑化の一途をたどり，医療従事者の質の向上が加速されています。このような状況にあって，大阪府立看護大学医療技術短期大学部は，時代の要請に呼応して発展的に解消し，看護大学に新学部の設置と看護学部の拡充がはかられました。

新学部は理学療法学，作業療法学，栄養療法学の３専攻からなり，新しい時代に対応したユニークな考え方で，総合リハビリテーションを展開する教育・研究を行うことをめざしています。本学部の研究はそれぞれの専門性を極めるとともに，広い視点から総合的に多岐にわたっており，このような学際的教育・研究活動を背景にJournal of Rehabilitation and Health Sciencesの創刊に至りました事は大きな喜びであります。本誌の基盤は総合リハビリテーション学部でありますが，学部の考え方から，本誌はすべての人々に開かれた学術誌をめざしています。絶えざる相互批判の可能性こそが客観性の維持を確保し，こうした教育・研究者としての姿勢は学生に反映するものであり，学問を発展させると信じるからであります。

各大学がその大学の特性を示しうるような積極的運営が望まれる今日，知の創造・伝達・活用を担う大学人としての資質が，改めて問われています。本学の特色の１つである，質の高い高度専門職者の輩出による地域貢献をより顕在化していくためには，高い資質を備え，幅広い見識と豊かな人間性のある人材を育成していかなければなりません。大学人としての自己研鑽の場として，特色ある大学としての表現の場として，本誌の発展を心より願っています。